

The

健康応援隊!

「認知症」早期発見・早期治療

「認知症は治らない病気だから医者に行っても仕方ない」、「今はまだ、症状がそれほどひどくないから大丈夫」と「認知症かな?」と思っはいるもの、受診をしないという人がいます。しかし、これは誤った考えです。

認知症の中で、半数以上を占める「アルツハイマー型認知症」はゆっくりでも、確実に症状が進行していきます。しかし、早い時期から治療を開始することで、進行を約3年〜5年遅らせることができます。また、脳血管性認知症では、脳梗塞等の再発を防ぐことで、進行を止められる場合もあります。適切な治療を受けることで、時間的なゆとりができ、治療や介護に本人の意思を反映することができます。

認知症患者（厚生労働省2013年度調査）は全国で推定462万人、高齢者の15%が認知症という診断結果が出ています。「認知症かもしれない・でも、まさか」といううちに、一度、地域包括支援センターに相談してください。

下表は認知症の始まりではないかと思われる言動を「認知症の人と家族の会」で作成したものです。

地域包括支援センターでは、認知症等の予防として、「びんしゃん教室」を開催しています。

家族がつくった 認知症・早期発見のめやす

もの忘れがひどい <input type="checkbox"/> 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言う・聞く・する <input type="checkbox"/> しまい忘れ置き忘れが増えいつも探し物をしている <input type="checkbox"/> 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う	判断・理解力が衰える <input type="checkbox"/> 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない <input type="checkbox"/> 話のつじつまが合わない <input type="checkbox"/> テレビ番組の内容が理解できなくなった	時間・場所がわからない <input type="checkbox"/> 約束の日時や場所を間違えるようになった <input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある
人柄が変わる <input type="checkbox"/> 些細なことで怒りっぽくなった <input type="checkbox"/> 周りへの気づかいがなくなり頑固になった <input type="checkbox"/> 自分の失敗を人のせいにする <input type="checkbox"/> 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた	不安感が強い <input type="checkbox"/> ひとりになると怖がったり寂しがったりする <input type="checkbox"/> 外出時 持ち物も度々確かめる <input type="checkbox"/> 「物が盗まれた」と本人が訴える	意欲がなくなる <input type="checkbox"/> 下着を替えず身だしなみを構わなくなった <input type="checkbox"/> 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった <input type="checkbox"/> ふさぎ込んで何をすることも億劫がりいやがる

また、県の指定により、古河赤十字病院に、「認知症疾患医療センター」が開設されました。認知症専門医療相談室が窓口となり、相談に応じています。
(地域包括支援センター保健師)

認知症に関する相談・お問い合わせ

- ◆ 地域包括支援センター ☎ 84-0765
- ◆ 古河赤十字病院 認知症疾患医療センター 認知症専門医療相談室 ☎ 23-7121

出典：公益社団法人「認知症の人と家族の会」作成

学校コーナー

自ら学び、自ら考え 主体的に行動する 生徒の育成を目指して

キャリア教育



五霞中学校



生徒たちは、自分の夢と向き合いながら事業所選びががんばっています。前日は元PTA

○平成25年度も2学期が始まっています。五霞中学校ではキャリア教育に力を入れ、「自ら学び、自ら考え主体的に行動する生徒の育成を目指して」の目標のもと、様々な活動を展開しています。今回は、第2学年で7月に行われた職場体験学習について紹介します。

○職場体験学習
7月10日、11日の2日間、五霞近辺を中心に51の事業所にお世話になりました。

今回は①自分の将来就いてみたい職業により近い体験になるように②事業所を見つけたことも学習として計画を進めました。



ました。人と人の関わりはとても大切であると実感しました。」
(2年1組 石塚玲奈)

○職場体験学習で学んだこと
林写真館で体験「職場体験をして前よりもっと写真やカメラに興味を持ちました。普段、習う事のできないカメラの操作の仕方や衣装のたたみ方も学べました。それ以外でも挨拶や人の接し方なども学ぶことができました。人と人の関わりはとて

当日は、遠方では東京まで出かけた生徒もいました。しまりを守り真面目に活動することができました。この経験を今後の生活や来年の進路選択に生かしたいと思います。

会長でキャリアアドバイザーの菊地和幸氏をお迎えして「仕事とは」というテーマでお話をいただきました。職場体験を受け入れる事業所としてのお話が特に印象的でした。「社会や人の役に立つことができるという喜び」「必要とされる喜び」が働くことの意義であると話されました。